

FM はなびで 紹介の本

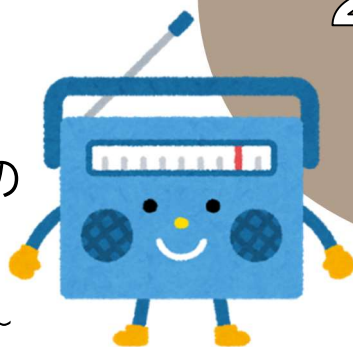
令和6年1月

2・9日(火)

放送分

87.3 MHz
はなさく

「毎日がだいせん日和」火曜日の
コーナーで放送しています。



放送時間 8:12~/11:37~/17:30~

★あけくれの少女 佐川光晴 集英社

「どこで、どうやって生きていくのか、うちは自分で決めたい」そう誓った真記(まき)は上京を目指すも、80年代後半の狂騒に翻弄され…。ひとりの少女の宝石のような20年間を描いた青春小説。

★仕事のためには生きてない 安藤祐介 KADOKAWA

社長案件のための新設部署に異動となった勇吉(ゆうきち)。これまでは趣味のバンド活動が最優先だったが、不毛かつ膨大な仕事に振り回される毎日に。そんな中、バンド仲間が余命宣告を受けたのを機に、自分はどう生きたいかを考え始め…。

★文庫旅館で待つ本は 名取佐和子 筑摩書房

戦前から続く海辺の老舗旅館・凧屋(たこや)の名物は、様々な古書を集めた文庫=図書コレクション。少しばかり“鼻が利きすぎ”な若女将がすすめる「あなたと同じにおい」の一冊が、訪れる人の人生を揺らし…。記憶と未来を繋ぐ物語。

★いちばんの願い トーン・テレヘン 新潮社

ツチブタ、ミミズ、クマ、アブラムシ、ヤマネ…。63のどうぶつそれぞれにある、風変わりな切実な願いを、オランダの元家庭医で詩人・作家のトーン・テレヘンが描く。

★エマとテラとモーツァルト ほそいさつき 岩崎書店(児童・幼児用)

エマはフィギュアスケーターの女の子。毎日厳しい練習で、友だちはぬいぐるみのテラだけ。テラを抱えて眠りについたエマは、目がさめると知らない町にいました。エマは、そこで出会った男の子・モーツァルトと仲良くなり…。

★このほん かげやまとおる 偕成社(幼児用)

男の子が書店で、大きな黒い穴があいた本を手にとった。すると、その本は突然大きく広がり、男の子を飲みこんでしまった。気づくと男の子は、本をつくる工場にいて…。本ができるまでの冒険ものがたり。